

敦賀発電所2号機 Bディーゼル発電機 燃料弁冷却水冷却器フランジ部からの海水漏れについて

第18回施設定期検査中の敦賀発電所2号機において、8月18日11時09分頃、前日に海水のにじみが確認されたBディーゼル発電機燃料弁[※]冷却水冷却器のフランジ部を点検するため当該部を清掃したところ、海水の漏れ（糸状）が発生しました。このため、当該冷却器を隔離し11時39分に漏れは停止しました。

当該フランジ部を開放して点検した結果、海水を止水するためのOリングが本来の仕様より線径（断面の太さ）が0.3mm細い製品が使用されており、必要な面圧が確保されていないことを確認しました。なお、当該冷却器の他の部品に異常は認められませんでした。

Oリングの仕様が異なっていた原因を調査したところ、点検を行った会社が点検対象の発電機名称をよく確認せず、A号機用のOリングを誤って発注し、使用していたことが判明しました。

対策として、発注や納入時等にOリングの仕様を明確に確認できるよう、発電機毎に異なる部品番号を用いることとしました。

当該冷却器については、本来の仕様のOリングに交換した上で漏れが無いことを確認し、8月27日に復旧しました。

本事象による周辺環境への影響はありません。

※燃料弁：燃料をシリンダに噴射するための部品であり、過熱防止のための内部を冷却水が循環する構造となっている。

